

令和4年度 第2回学校評価アンケートの結果について

過日実施いたしました「第2回学校評価アンケート」の集計結果がまとまりました。保護者の皆様におかれましては、お忙しい中アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

いただきましたご意見はすべて拝読いたしました。保護者の皆様からの貴重なご意見やご要望は真摯に受け止め、来年度の学校運営がより良くなるよう速やかに改善を図ってまいります。今後も本校の教育活動にご理解とご協力の程、よろしくをお願いいたします。

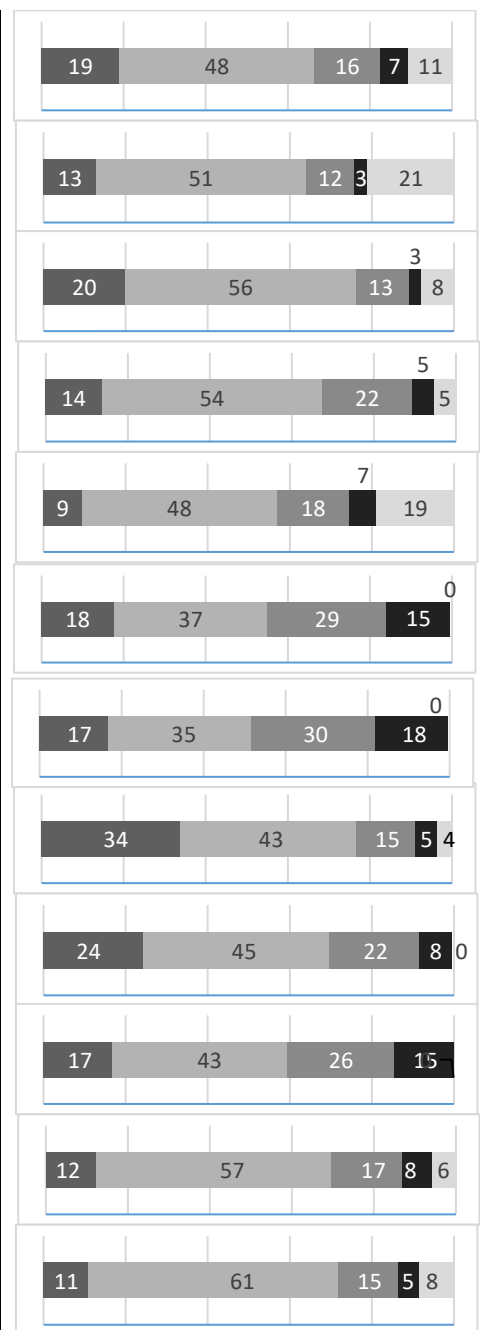
成田市立遠山中学校 校長 丸 庸仁

(1) 保護者アンケート集計結果 [回答数 227名 全校生徒403名] ※上段は後期, 下段は前期の数値

(数字=% 小数第1位四捨五入 A=そう思う、B=ややそう思う、C=あまり思わない、D=そう思わない、?=わからない)

No.	質 問	肯定	A	B	C	D	?
1	学校は、学校教育目標など、学校経営方針を保護者にわかりやすく伝えている。	77	15	62	13	4	7
		85	15	69	9	1	5
2	学校(教員)は、授業の改善・工夫を図り、わかる授業づくりに努めている。	67	12	55	13	2	19
		67	12	55	9	1	23
3	学校(教員)は、生徒の長所を伸ばし、やる気を高める指導・支援に努めている。	66	14	52	18	6	11
		71	17	54	12	5	13
4	学校(教員)は、生徒の学習評価を適切に行っている。	82	18	64	7	1	11
		79	17	62	6	2	13
5	学校(教員)は、生徒の学校での様子について、よく連絡をしている。	55	12	43	27	12	5
		56	12	44	27	13	4
6	学校は、各種たよりやホームページ、マチコミメールなどを通して、積極的に保護者へ情報を伝えている。	85	28	57	11	3	2
		88	34	54	7	3	2
7	学校(教員)は、生徒が抱える悩みや相談に寄り添って対応している。	63	13	50	13	7	17
		63	12	50	12	2	16
8	学校(教員)は、望ましい生活習慣や規範意識の醸成を意識した指導を実践している。	76	14	63	11	4	9
		70	13	57	12	2	16
9	学校(教員)は、いじめや暴力などの問題行動の根絶に向けた指導・支援を行っている。	60	13	48	12	4	25
		58	11	47	12	4	26
10	学校(教員)は、保護者からの相談に対して適切に対応している。	73	19	54	7	3	18
		76	19	57	6	3	15
11	学校は、生徒の実態やニーズに基づいた特別支援教育の充実に努めている。	63	13	49	5	1	31
		61	12	49	6	1	33
12	学校(教員)は、職業観や中学校卒業後の進路について、適切に情報提供を行い、指導をしている。	60	12	48	16	5	20
		58	10	48	15	4	24
13	学校(教員)は、いのちを大切にす心、思いやりの心を育てるとともに、人権意識の向上を図っている。	66	15	51	11	4	19
		66	11	55	8	3	23
14	学校(教員)は、学級活動や学校行事、生徒会行事などを通して生徒の自立・自治力の向上を図っている。	80	16	64	5	3	12
		81	19	62	4	0	14

15	学校（教員）は、適切な計画の下で、生徒の主体性を生かしながら部活動を実施している。	67	19	48	16	7	11
		71	20	51	14	4	11
16	学校は、学校施設や備品等、教育環境の整備に努めている。	64	13	51	12	3	21
		67	13	53	12	4	19
17	学校は、登下校時を含め、生徒が健康・安全に学校生活を送れるよう配慮をしている。	76	20	56	13	3	8
		80	18	62	11	4	5
18	学校は、授業や学校行事の参観、保護者面談などの機会を適切に設けている。	67	14	54	22	5	5
		81	18	63	12	4	4
19	学校は、授業や学校行事で保護者や地域人材を活用するなど、地域と連携して教育活動を進めている。	57	9	48	18	7	19
		67	13	54	11	1	21
20	お父さんは、意欲的に学習に取り組んでいる。	55	18	37	29	15	0
		53	15	39	30	16	1
21	お父さんは、家庭学習の習慣が身についている。	52	17	35	30	18	0
		52	16	36	27	21	0
22	お父さんは、学校へ行くことを楽しみにしている。	77	34	43	15	5	4
		79	35	45	12	7	1
23	お父さんは、学校生活の様子を保護者に伝えている。	70	24	45	22	8	0
		74	26	47	19	7	1
24	お父さんは、学校からの配付物を保護者へ忘れずに手渡している。	59	17	43	26	15	0
		68	27	41	19	12	0
25	本校の生徒は、校外において交通マナーや公共ルールを守っている。	70	12	57	17	8	6
		74	15	59	15	7	4
26	あなたは、本校の教育活動に満足している。	72	11	61	15	5	8
		77	10	67	12	4	8



《考 察》

前回と今回のアンケートの結果を比較した上で、本校では以下の3点について、早急に改善していかなければならないと受け止めています。

- ①生徒によって学習意欲に大きな差があり、家庭学習の習慣が身についていない生徒も多い。(No.20,21)
- ②保護者の方々に学校の子どもの様子について、知っていただく機会を十分に設けていない。(No.18)
- ③地域との連携が不十分で、地域の教育力を生かせていない。(No.19)

①の生徒の学力について、1月に行われた「成田市学力調査」の1年生数学では、本校の平均点は全国平均を大きく上回りました。この結果から、「これまで本校の学力が伸び悩んできたのは、教える側の意識や授業の進め方にも原因があるのではないかと受け止めています。来年度に向けて、各教科内でのアウトプット(小テスト)の実施/保護者の方々と連携しての家庭学習の習慣づけ/家庭学習の効果的な方法の周知/eライブラリなどのアプリの継続的な活用/テスト前の補習の設定 などを進め、生徒の学力向上に取り組んでまいります。

②については、コロナ禍の影響を受けて、特に授業や日常の生徒の様子を保護者の方々にご覧いただく機会を十分に設けることができませんでした。来年度につきましては、子どもたちの学校生活を段階的にコロナ禍以前に戻していくと同時に、学校公開ウイークや保護者会、学級懇談などの機会を適切に設けてまいります。

③の地域連携については、職場体験学習や授業のゲストティーチャーなど、どうしたら地域の教育力を学校運営に生かせるか、検討していきたいと思っております。また、学校は常にサービスの受け手になるばかりでなく、学区内の祭りやイベントに積極的に参加するなどして、中学生の持つエネルギーを地域の活性化に役立てられたら、と思っております。